



さつぽろの 財政状況を公表

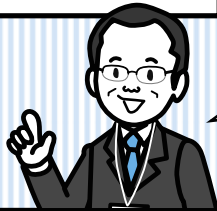
健全化判断比率

最近、全国のまちの財政状況が、新しい指標で報道されているみたいなんだけど...



公表する4つの指標

- 実質赤字比率
- 連結実質赤字比率
- 実質公債費比率
- 将来負担比率



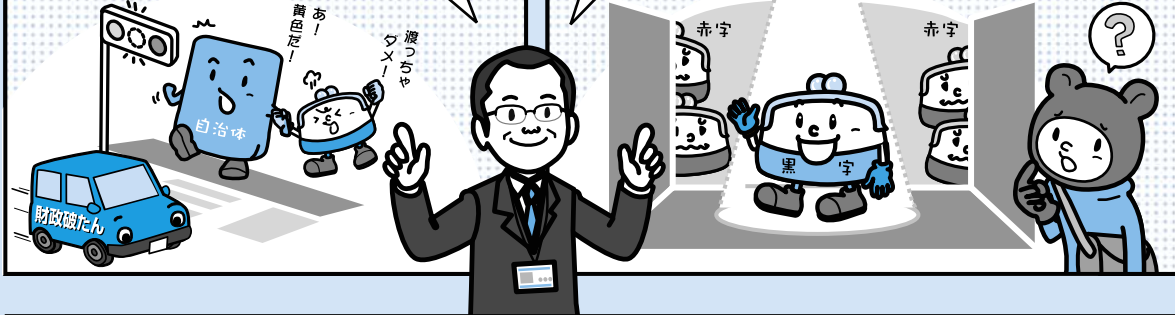
これは、昨年できた法律『財政健全化法※』に基づき、四つの新しい指標で、財政の健全性を示すもので、公表が義務付けられているんです

※正式名称「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」

どうして新しい指標ができたの？

自治体はいくつかのおサイフを持っていますが、これまでの指標では、自治体の中心となるおサイフしか見ませんでした。今回の法律では、ほかのおサイフも合わせて見るようにし、財政状況がより分かるようにしたのです

さらに、これまでの指標では、信号でいうと赤信号と青信号しかなかったため、気が付いたときには、いきなり財政破たんになっていました。しかし、今回の指標では、新たに黄色信号をつくり、早めに財政状況を改善させることで、破たんを未然に防ぐのです



で、札幌市はどうなの？

健全化判断比率 (平成19年度決算)			
	内容	札幌市	早期健全化基準 (黄色信号) / 財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	一般会計※1を中心とした赤字の割合	赤字なし	11.25% / 20%
連結実質赤字比率	一般会計、特別会計※2、企業会計※3のすべての会計の赤字の割合	赤字なし	16.25% / 30%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	10.8%	25% / 35%
将来負担比率	将来負担が見込まれる負債の割合	156.9%	400%

健全化判断比率は良好で、問題となる比率はありません。これは、借金を順調に返済するなどの、これまでの取り組みの成果といえます



※1.一般会計とは、教育や福祉、道路整備などを行う、行政の基本的な会計 ※2.特別会計とは、国民健康保険や介護保険など、一般会計と区別して設置する事業の会計 ※3.企業会計とは、地下鉄や水道など、民間企業と同様に、利用料金などの収益で運営している会計

市では毎年、予算の執行状況や財産の状況を公表し、皆さんの納めた税金がどのように使われているかをお知らせしています。今回は、財政状況を新たな指標で公表する「健全化判断比率」の結果や、平成19年度決算の概要をお伝えします。
※数値は各項目ごとに四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります

公営企業も、資金不足の状況を公表することが義務付けられましたが、資金が不足している公営企業はありませんでした

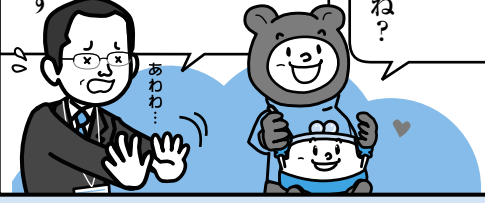
資金不足比率 (平成19年度決算)

	資金不足比率	経営健全化基準
市立札幌病院	資金不足なし	20%
中央卸売市場		
路面電車		
地下鉄		
水道		
下水道		

※地下鉄は資金不足が生じていますが、将来解消可能なため、比率上、資金不足はありません

それじゃあ、札幌市の財政は安心してことだね？

とんでもありません！ 今回の指標では良好でしたが、市の財政は、依然として厳しい状況が続いているのです



このページに関するお問い合わせは

総務資金課
☎211-2216